

第4回亀山市民大会

2009年3月8日(日) 三重県亀山市

はじめは亀山市主催の大会であったが、亀山市が少し距離を置くようになった。今年はどうな大会になったのか。



関西線 亀山と加茂を結ぶワンマンカー

全日本大会への準備のひとつとして参加した。

亀山市と合併した旧の関町には熱心なオリエンティアがあり、その関係で関町は西日本大会を始めとするビッグな大会を開催された。旧亀山市と合併後始まった亀山市民大会は今まで旧亀山市で行なわれてきた。

今回はグループと個人で会場が異なり、しかも後でわかったが個人のゴールが2箇所あり、なかなか大変な運営と想像された。

個人会場ではグループの参加状況などの様子は全くわからなかった。

個人の会場は関のB&Gセンター。関駅から徒歩20分と鉄道のアクセスは悪くはないが、車での来場者が圧倒的に多かったようだ。

地図は2002年3月に開催された第43回中日東海ブロックオリエンテーリング大会で使った「破魔射場池」の東名阪自動車道の西側の山塊のみ切り出し、リメイクしたもの。登距離がコース距離の10%に近い。スタートをして、1、2コントロールとこなしていくうちにやや地図に不安を感じ、4番で他人に引きずられ、ややミス。地図の名前になっている「木虎山」のピーク付近で、なぜか現在位置がずれて、5番は最近にない大幅なロスにいたる。ラップを見せたらと場所が異なるが何人かが

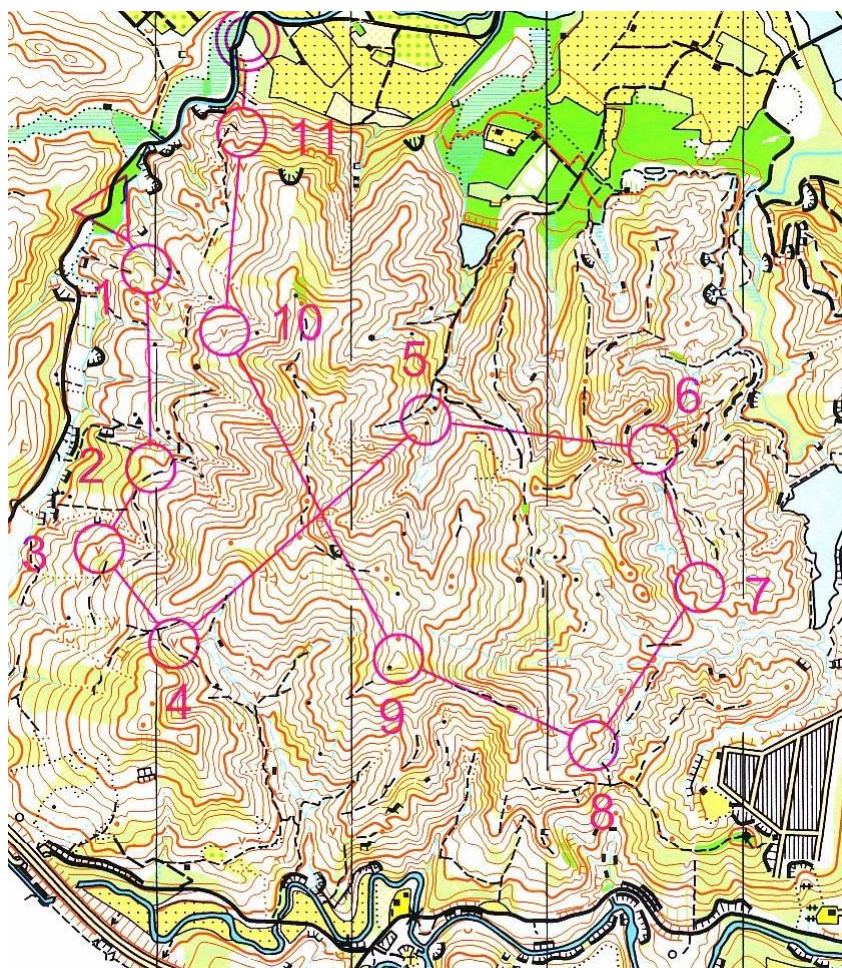
大幅ミスをやっていた。

天気予報では数日前から雨の予想であり、心配していたが、当日はぼかぼかの暖かい陽気で、今日のトレインやコースを振り返ると雨が降らなくて本当によかったという思いがした。

急斜面でのレース経験はおそらく2週間後の全日本に役立つと思われる。この大会の参加者の健闘を祈りたい。

余談であるが、亀山から関を経て、奈良県に隣接する京都府の加茂までは写真の2両編成のワンマンディーゼルカーがほぼ1時間間隔で走っている。会場のB&G海洋センターから南へ1km隔てた今回の競技エリア間を横切ってこの関西線が鈴鹿川の清流に沿って東西に走っている。

(小野盛光)



M50Aのコース